

平成 15 年 12 月 3 日

各 位

新規エイズ治療薬（経口 CCR5 受容体拮抗剤）米国で第 Ⅲ 相臨床試験を終了

英国グラクソ・スミスクライン社（GSK 社）は、小野薬品が創製した新規エイズ治療薬（開発記号：GW873140 / ONO-4128）の米国における第 Ⅲ 相臨床試験を終了致しましたのでお知らせします。

本剤は昨年 12 月、小野薬品がエイズ領域において開発および販売実績のある GSK 社に全世界での開発・製造・販売に関する権利を供与していたものです。

ヒト CCR5 受容体は HIV 感染からエイズ発症に至る初期および中期過程において、HIV ウィルスが細胞に侵入する際に利用する重要な受容体の一つと考えられています。

GW873140 / ONO-4128 は、この CCR5 受容体に拮抗することでウィルスの細胞内への侵入を防ぐという、既存の治療薬とは異なる新しい作用機序の薬剤であると考えられています。

また、今後の臨床試験での確認が必要ではありますが、本剤の標的である CCR5 受容体はヒト免疫細胞の表面（細胞膜）に存在するため、既存の薬剤と異なり、変異ウィルスの出現による薬剤耐性の可能性も低いと考えられています。

本年 6 月末から米国で実施された第 Ⅲ 相臨床試験のデータから、健常成人に対する GW873140 / ONO-4128 の安全性が確認されました。また、本剤がヒトの CCR5 受容体に対して長時間結合するという重要な薬理作用が明らかになったことから、本剤が、1 回の服用量が少なく、また、1 日の服用回数も少ない経口投与可能な薬剤として開発出来るものと期待しております。

GSK 社は間もなく第 Ⅲ 相臨床試験に入る予定であり、今後順調に開発が進めば 2007 年前半の申請も可能ではないかとコメントしています。

以 上

小野薬品工業株式会社
広 報 室
TEL : 06-6263-5670
FAX : 06-6263-2950